

Tintri ReplicateVM™ ソフトウェア

データ保護と災害対策を実現する、
高性能な VM単位でのレプリケーション

ティントリ スマートストレージは VM単位でストレージを監視、把握、適応、管理することで、従来のレプリケーションが抱える問題を解消します。シンプルかつ高性能な VM単位のレプリケーション機能は、仮想環境のデータを柔軟に保護するのに役立ちます。Tintri ReplicateVM は VM単位のカスタマイズ可能なポリシー、重複排除と圧縮 (WAN帯域幅を最大95%軽減)、および使いやすいフェールオーバー、マイグレーション、およびテストの機能を備え、仮想環境内の企業データの保護と災害対策を簡素化できます。

ReplicateVM は VMware Site Recovery Manager (SRM) とネイティブに連携し、シンプルかつ効率的に実行できます。Storage Replication Adapter (SRA) を使用すると、管理者は以下のことを実行できます。

- ・ リカバリー プランを数分間で設定および実行
- ・ サイトのフェールオーバー、計画された移行、フェールバックなどのワークフローを自動化
- ・ 本番インフラストラクチャーを中断することなく、隔離されたインフラストラクチャーで DR のテストを実行

ReplicateVM は保存データを暗号化する SecureVM ソフトウェアと連携できます。

Tintri ReplicateVM の5つの特長

1. 業界で初めて、アレイ側での VM単位のデータ レプリケーションを実現
2. リモートへの VM のクローン作成を簡単に実行
3. 重複排除と圧縮により、WAN 帯域幅を最大95%軽減
4. VMware Site Recovery Manager と連携し、VM単位のレプリケーションの機能とシンプルさを、SRMでの災害対策で実現
5. SecureVM と組み合わせ、リモート サイトでも保存データの暗号化を実現

ReplicateVM でクリアしている、 従来のレプリケーションに関する5つの懸念項目

1. レプリケーションとデータ保護ポリシーの管理に多大な工数が掛かる
2. レプリケーションのポリシーがLUN やボリューム単位となり、VM単位で細かく設定できない
3. WAN 帯域幅に負荷がかかり、災害対策が実務レベルになっていない
4. 個々の VM のリカバリーに長い時間がかかる
5. 災害対策の準備状況を短時間でテストする場合、本番環境にも影響が出てしまう

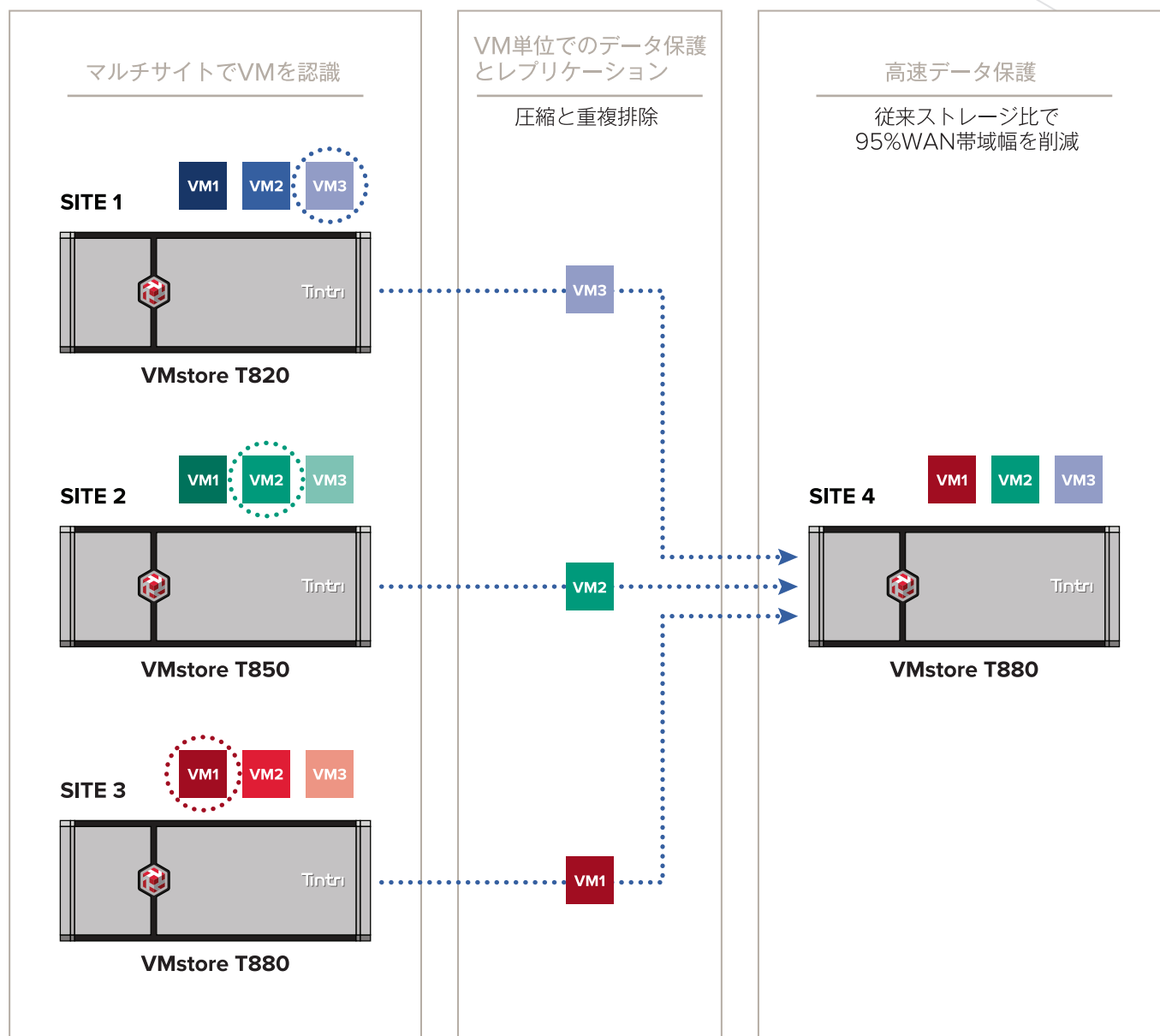
「他のストレージでは、VM単位のレプリケーション機能を見たことはありませんでした。ティントリはレプリケーションを効率化するために仮想インフラを設計し直す必要がありません。スナップショットとレプリケーションのスケジュールを VM単位で設定できるため、時間を大幅に節約できます。特定の VM インスタンスをリカバリーできるため、環境のリカバリー効率を高めることができます。これまで行ってきたテストでは災害対策プロセスの所要時間は10分の1に短縮されると予測されます」

Ross Alaspa 氏
AMD社 アプリケーション
サーバー設計者



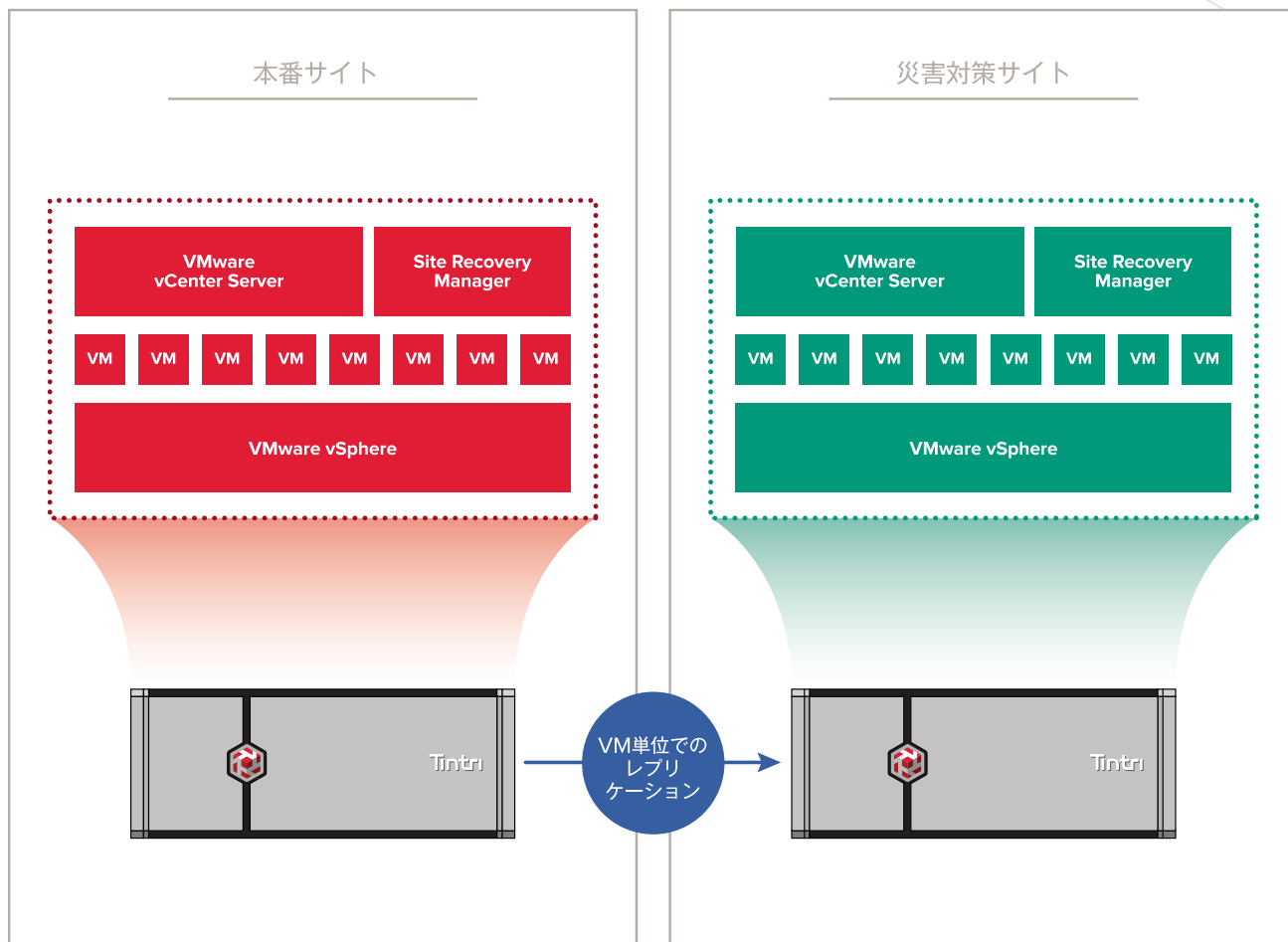
仕組み

ReplicateVM によるデータ保護と災害対策



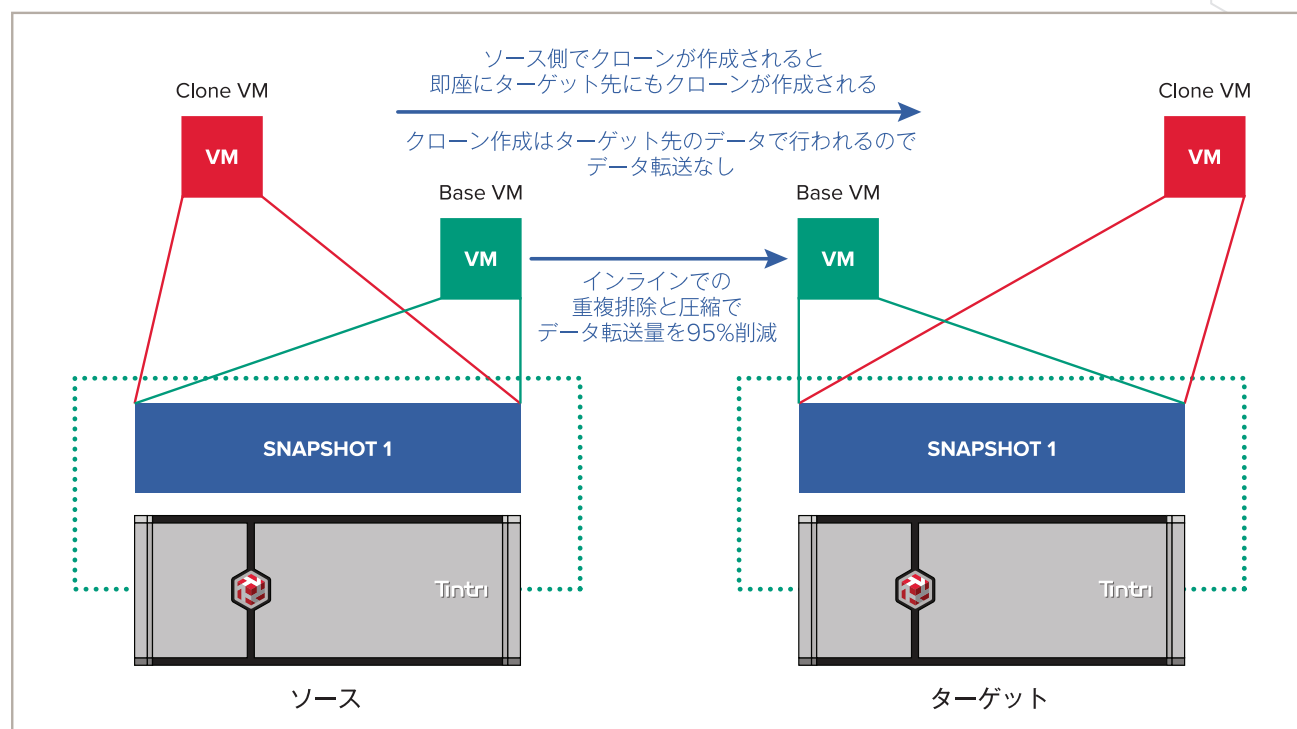
仕組み

VMware Site Recovery Manager と ReplicateVM の組み合わせ

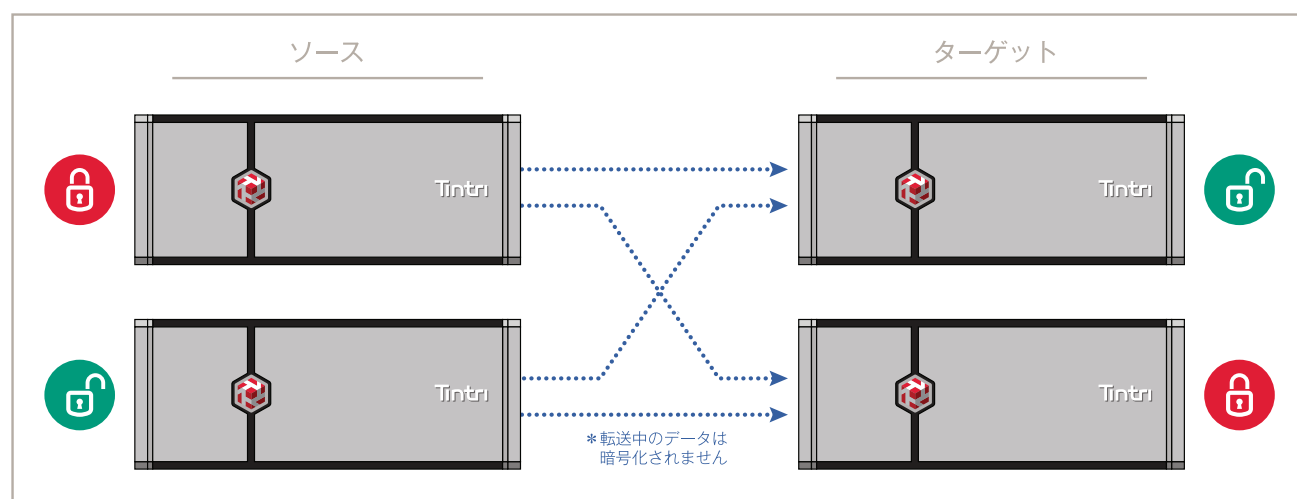


仕組み

VDI およびテスト／開発



暗号化された VMstore と暗号化されていない VMstore 間のレプリケート



〒100-0005
東京都千代田区丸の内 1-3-1
東京銀行協会ビル 15階
03-3216- 7345
info.japan@tintri.com | www.tintri.co.jp